

その後
どうなった？

視覚障害者にやさしいまちづくり

過去に行った一般質問に対し、その後どのように町政に反映されたかを徹底追跡します！

Q 視覚障害者に対応した日常生活用具給付等事業には、具体的にどのようなものがあるのか。

(令和3年9月議会)

A 情報や意思疎通を支援する用具としては、読書など文字を読むときに、文字を大きく見ることができる視覚障害者用拡大読書器などがある。

その後

令和4年4月より、“暗所視支援鏡※”が日常生活用具に追加されました。



※高感度カメラで捉えた微光をさせる機能を有し、眼鏡ディスプレイに鮮明に投影できるもので、視覚障害者が容易に使用しえるものです。

Q 読書バリアフリー法の成立をうけ、電子書籍の導入は視覚障害者のみならず、時代の流れの中で多くの住民ニーズを的確に捉えていると考えるが、導入に対する見解は。

(令和3年9月議会)

A 先行的に電子図書館サービスを始めている県内10館ほどの公共図書館や近隣市町の状況を確認しながら、調査・研究していく。

その後

令和6年10月より、“オーディオブック※”が導入されました。



※ナレーターや声優が本を朗読した「耳で聴く本」です。ご自身のパソコンやスマートフォンなどから、武豊町立図書館のホームページにアクセスし、資料検索から聴きたい本を選び、無料(通信料別)で利用できます。

～議員視察～

行政視察レポート

知多郡東浦町議会視察受入

2月7日

当町の災害対応型LPガスバルク供給システムの設備について、東浦町の視察を受け入れました。



視察会議風景



武豊中学校 空調